

鐵道抵當法案特別委員會議事速記第五號

明治三十八年二月十日(金曜日)午前十時五十五分開會

○委員長(子爵曾我祐準君) ドウデセウカ、唯今カラ始メマシテ暫ク速記ヲ止メマシテ
菊蔭版ノ案ニ付テ御質問モ致シ御説明モアリマセウカラ、サウ致シテハ如何……

(「贊成ト」呼フ者アリ)

(速記中止)

○委員長(子爵曾我祐準君) 唯今カラ開會イタシマス、藤田サンカラドウゾ願ヒマス
○藤田四郎君 先日來政府委員ノ御意見ニ就キマシテ段々政府ノ模様モ伺ヒマシ
テ、別紙菊蔭版ノ通り大體ニ於テ修正イタシタイ希望デゴザイマス、尤モ中ニハ逐條ニ
於キマシテ多少ノ修正モ起リマスカ分リマセヌト思ヒマスガ、大體菊蔭版ノヤウニ訂正ヲ
願ヒタイト思ヒマス、之ヲ修正案トシテ提出イタシマス、ドウゾ御同意ヲ願ヒマス、大體デ
ケドウゾ御贊成ヲ願ヒマシテ其事毎ニ就キマシテハ逐條御討議ヲ願ヒマシテ御議決ヲ
願ヒマス

○都筑馨六君 贊成

(其他「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵曾我祐準君) 然ラバ今藤田サンノ提出ノ菊蔭版ノ澤山ノ箇條ノア
ル修正、之ヲ議スルコトニ致シマス

(參照)

藤田四郎君修正案

鐵道抵當法案中左ノ通修正ス

一第三條第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第三號以下順次繰下ク

三 鐵道用水路水源、之ニ要スル工作物及其ノ敷地並ニ之ニ屬スル器具機械

同條第四號(舊第三號)中「通信又ハ信號」ヲ「通信、信號又ハ送電」ニ改ム

一第四條第一項中「目的タル」ヲ「目的ト爲ス」ニ改ム

同條第二項中「登記シタル賃借權」ヲ削リ「目的タル」ヲ「目的ト爲ス」ニ改ム

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

鐵道財團ニ屬スヘキモノニシテ所有權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處
分ノ目的タルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動産ニシテ賃借權ノ目的タルトキ
ハ會社ハ鐵道財團ヲ設クルコトヲ得ス但シ不動産ニ關スル權利ニ付其ノ登記ナ
キトキハ此ノ限ニ在ラス

一第五條中「認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス」ヲ「認可ヲ受クルニ因リ其ノ
效力ヲ生ス」ニ改ム

一第六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

一第七條乃至第十一條ヲ削ル

一第十二條ヲ第七條トシ同條第一項中「抵當證書、鐵道財團目錄並鐵道財團ニ

屬スヘキ不動産ニ關スル權利ノ登記アル土地又ハ建物ノ登記簿ノ謄本」ヲ「抵當
證書及鐵道財團目錄」ニ改メ同條第四項ヲ削ル

一第十三條ヲ第八條トシ左ノ如ク改ム

抵當權ノ設定認可ノ申請アリタルトキハ主務官廳ハ直ニ官報ヲ以テ鐵道財團

ニ屬スヘキモノニ關シ第四條第三項ノ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假

處分ノ債權者ハ一定ノ期間内ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

前項ノ期間内ニ申出ナキトキハ不動産ニ關スル權利ノ登記ハ其ノ效力ヲ失ヒ

不動産ニ關スル權利ハ存セサルモノト看做シ差押、假差押若ハ假處分ハ其ノ效力

ヲ失フ但シ抵當權ノ設定認可セラレタルトキ又ハ其ノ認可カ效力ヲ失ヒタルト

キハ此ノ限ニ在ラス

抵當權ノ設定認可セラレタルトキ又ハ其ノ認可カ效力ヲ失ヒタルトキハ主務

官廳ハ直ニ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

一第八條(舊第十三條)ノ次ニ左ノ如ク加フ

第九條 抵當權ノ設定認可ノ申請ヲ爲シタル後ハ會社ハ鐵道財團ニ屬スヘキモ

ノヲ讓渡スコトヲ得ス

第十條 第八條第一項ノ公告アリタル後ハ抵當權ノ設定認可ノ申請カ却下セ

ラレサル間及其ノ認可カ效力ヲ失ハサル間ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動産ニ關ス

ル權利ニ付競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ不動産ニ對スル競賣ノ場合ニ之ヲ準用ス

一第十一條 第八條第一項ノ期間經過後鐵道財團ニ屬スヘキモノニ付爲シタル登

記又ハ差押、假差押若ハ假處分ハ主務官廳ニ於テ抵當權ノ設定ヲ登録シタル

トキハ其ノ效力ヲ失フ

一第十四條ヲ削ル

一第十五條ヲ第十二條トシ第二十條迄順次繰上ク

一第十七條(舊第二十條)ノ次ニ左ノ一條ヲ加

第十八條 會社ハ鐵道財團ヲ設ケタル鐵道ニ關シ第三條ニ掲ケタルモノヲ取

得シタルトキハ當然鐵道財團ニ屬ス

前項ニ掲ケタルモノニ關シ第四條第三項ノ權利アルトキハ不動産ニ關スルモノノ

登記ハ其ノ效力ヲ失ヒ不動産ニ關スルモノハ存セサルモノト看做シ差押、假差押又

ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ

一第二十一條ヲ第十九條トシ第二十三條迄順次繰上ク

一第二十條(舊第二十二條)第一項中「休止セムトスルトキ」ノ下ニ「又ハ鐵道財團

ニ屬スルモノヲ處分セムトスルトキ」ヲ加ヘ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

本條ノ規定ハ抵當權者カ豫メ同意ヲ與ヘタル場合ニハ之ヲ適用セス

一第二十一條(舊第二十三條)第一項中「又ハ鐵道財團ニ屬スル物ノ處分」及「又ハ處分」ヲ削ル

一第二十四條ヲ削リ第二十五條ヲ第二十二條トシ以下順次繰上ク

一第二十九條(舊第三十二條)中第一項第三號ヲ削リ第二項中「並登記簿ノ謄本」及「第三號」ヲ削リ第三項中「及第三號」ヲ削リ第四項ヲ削ル

一第三十四條(舊第三十七條)中第二項及第三項ヲ削リ第四項中「第一項」ヲ「前項」ニ改メ第五項ヲ削ル

一第三十六條(舊第三十九條)第一項中「主務官廳ハ」ノ下「直ニ」ヲ加ヘ「及其ノ年月日」ヲ削リ「通知スヘシ」ヲ「通知シ」ニ改メ其ノ下ニ「且第一號及第三號ノ場合ニ於テハ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ」ヲ加フ

第三號削除

第四號ヲ第三號ニ改ム

第二項トシテ左ノ一項ヲ加フ

前項第二號ノ通知ハ新ナル管轄登記所ニノミ之ヲ爲スヘシ

一第三十七條(舊第四十條) 登記官吏カ前條第一號又ハ第二號ノ通知ヲ受ケタルトキハ第三號ノ通知ヲ受クル迄ハ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノニ付所有權以外ノ物權、賃借權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス但シ所有權以外ノ物權、賃借權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノカ主務官廳ノ證明書ニ依リ鐵道財團ニ屬セサルコト明白ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

一第三章 強制執行「第三章 強制競賣及強制管理」ニ改ム

一第四十七條(舊第五十條)中「債務者タル會社」ヲ「鐵道財團ノ所有者」ニ改ム

一第五十一條(舊第五十四條)ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ抵當權者ニシテ競賣ニ加入スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一第六十八條(舊第七十一條)第一項中「之ヲ受取ルヘキ者」ヲ「抵當權ノ順位ニ從ヒ之ヲ抵當權者ニ配當シ仍殘餘アルトキハ之ヲ鐵道財團ノ所有者」ニ改ム

同條第二項第二號「登記」ノ下「並第八條第二項、第十一條及第十八條第二項ニ依リ效力ヲ失ヒタル登記」ヲ抹消「ヲ加フ

一第七十二條(舊第七十五條)中「鐵道財團」ヲ削ル

一第九十二條(舊第九十五條)中「發起人」ヲ削ル

○委員長(子爵曾我祐準君) チョット御相談イタシマスガ、之ヲ議スルノハ本案ト之ト混ゼテ、順序ニイカヌト……

○委員長(子爵曾我祐準君) ソレナラ時間ニナリマシタカラ暫ク休憩シマシテ、トウツ午後引續イデヤリタイト思ヒマスカラ、左様願ヒマス

午後零時十一分休憩

午後零時五十六分開會

○委員長(子爵曾我祐準君) 今ヨリ午前ニ續イテ開會シマス、第一章第一條ヨリ第三條マデ朗讀サセマス、菊蔭版ノ修正シタノヲ讀ミマス

(書記朗讀)

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ會社ト稱スルハ私設鐵道株式會社ヲ謂フ

第二條 會社ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲鐵道ノ全部又ハ一部ニ付鐵道財團ヲ設クルコトヲ得

鐵道財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ鐵道財團ニ屬スルコトヲ得ス

鐵道財團ハ之ヲ一箇ノ物ト看做ス

鐵道財團ハ抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第三條 鐵道財團ハ左ニ掲グルモノニシテ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノヲ以テ之ヲ組成ス

一 鐵道線路、其ノ他ノ鐵道用地及其ノ上ニ存スル工作物並之ニ屬スル器具機械

二 工場、倉庫、發電所、變壓所、配電所、事務所、舍宅及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械

三 鐵道用水路水源、之ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械

四 鐵道用通信、信號又ハ送電ニ要スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械

五 前四號ニ掲ケタル工作物ヲ所有シ又ハ使用スル爲他人ノ不動產ノ上ニ存スル地上權、登記シタル賃借權及前四號ニ掲ケタル土地ノ爲ニ存スル地役權

六 車輛及之ニ屬スル器具機械

七 保線ニ要スル材料及器具機械

○藤田四郎君 チョット他ニモウ一ツ修正ヲ持出シタイト思ヒマスガ、是ハ併シ政府ガ同意ガ無ケレバ別段強ヒテ言フ事柄デモゴザイマセヌガ、第二條ノ二項ニ「鐵道財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ鐵道財團ニ屬スルコトヲ得ス」トアリマスガ、是ハ無論ノ話ト思ヒマスガ、無クテモ宜イト思ヒマス

○村田保君 贊成

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ成ルベク置イテ戴キタイ、無論トハ言ヒ兼ネルダラウト思ヒマス

○都筑馨六君 ケレドモ、此四條一項ガアリマスカラ大抵無論ニナリハ致シマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 鐵道ノ一部ニ付テ抵當權ヲ設ケタト云フヤウナ場合ニデスネ、サウ云フ時ニ一ツノモノヲ兩方ニ附ケルコトハ出來ヌコトニナリハシマセヌカ、此規定ガ無イト……

○藤田四郎君 強ヒテ主張ハ致シマセヌ

○高木豐三君 今ノヤウナ場合デスネ、一部ハ既ニモウ財團ガ出來テ居ル、ソレカラ他ノ一部ヲ今度新ニヤラウト云フトキニハ何レ主務省ノ認可ヲ受ケルノデセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス
○都筑馨六君 其場合ニ前ノ財團ニ屬シテ居ルモノヲ入レテ許スト云フコトハ無論シ
ナイノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 併シ是ガ無ケレバヤルカモ知レヌデスカ、ツレカラ又會
社モ初メカラサウ云フコトハ入レテ申請ヲシナイ方ガ宜カラウト思ヒマス

○藤田四郎君 第三條ノ一號ノ「器具器械」ト云フコトハ無論訂正ハ出テ居リマス
○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ調ベテ見マシタラ訂正ガ出テ居リマス

○委員長(子爵曾我祐準君) チョット御相談ヲシマスガ、二讀會ト見テ片ツ端カラ極
メテ行キマセウカ、質問ヲ交ゼテ行キマセウカ

○村田保君 片ツ端カラ極メテ戴キタイ

○委員長(子爵曾我祐準君) 併シ第一讀會トシテ斯ウ云フ風ニシテ行キマスレバ今
度第二讀會ノトキニハ章クラ井デ宜イデセウ

○都筑馨六君 ツレデ宜イデセウ

○古市公威君 藤田君ニチヨット御相談ヲスルノデスカ、此「鐵道用水路水源」ト云
フノハ先刻「水源」ト云フノハ「水溜」ダトカ云フ御話ガアリマシタガ、之ヲ抜イテ仕舞ッ
ラドウデセウ「鐵道用水ニ用井ル」トカ「鐵道用水ニ關スル工作物」要スルニ此水源ノ使
用權ナドハ是ハ含蓄シテ居ラヌト思フノデスカ、詰リ工作物トカ敷地トカ器具機械トカ
云フモノガラウト思ヒマス、サウスレバ「用水路」ナドト云フコトハ除イテ仕舞ッ方ガ宜ク
ハナイカ

○都筑馨六君 「鐵道用水路ニ關スル」ト云フテハイケナイノデスカ

○政府委員(山之内一次君) ツレハ給水バカリデハナイ、原動力ヲ起ス水源ニモ水ノ
入用ガアルノデスカ、雙方含ム爲ニ「鐵道用水路水源」トシテ置イタノデ……

○藤田四郎君 今古市サンカラ御交渉デスカラ申上ケマスガ「鐵道用水路、鐵道用水
源」トシテハドウデスカ

○都筑馨六君 ツレデハイケナイ

○委員長(子爵曾我祐準君) 藤田サンハドウ修正ヲシヤウト仰ッシャルノデスカ
○藤田四郎君 私ノ修正ハ取消シテ更ニ再交渉ヲ致シマシテ古市サンノ修正ニ賛成
シマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 古市サンノ明ニ仰ッシャッタ下サイ

○古市公威君 「鐵道用水ニ關スル工作物及其ノ」云々トナリマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 鐵道用水其物ハ取除ケニシテ「鐵道用水ニ關スル」ト
云フコトニナリマスガ

○都筑馨六君 如何デゴザイマスガ「鐵道用水ニ關スル」デモ山之内サンノ仰ッシャル
ヤウナ御心配ハ無イヤウニ思ヒマスガ、大抵「關スル」ト廣クヤッテ置ケバ這入ルガラウト思
ヒマス

○政府委員(山之内一次君) 原動力モ矢張り給水デアリマスガ

○都筑馨六君 水ヲ給スルカラ給水デアラウト思ヒマス

○政府委員(山之内一次君) ツレナラバ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) 今ノ御修正案ハ「鐵道用水路」デスカ「鐵道用水路ニ
關スル工作物」デスカ

○都筑馨六君 ハイ

○子爵堀田正養君 原案デ宜イヤウダ

○高木豐三君 原案ガ宜イ

○藤田四郎君 ツレデハサウ色々議論ガアッテハ御交渉ニ應ジマセヌ

○委員長(子爵曾我祐準君) ツレデハ原案デ宜イトシテ、三條マデ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今ノ御尋ネノ起リマシタ原因ハ水ガ此中ニ包含スル
ヤ否ヤ、水ヲ引クノ權利ヲ包含スルヤ否ヤト云フハ不明デアラカデハ無カッタデゴザイ
マスガ

○古市公威君 ツレデ無シニシタイノデスカ、工作物ダケニシタイノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 此飲用水ノ權利ハ含マナイコトニナルト思ヒマス

○古市公威君 サウスルト水源ト云フハドンナモノデアアル、水路ハ……是ハ分ルカ知ラヌ
ガ、水源ト云フハドンナモノニナル

○政府委員(一木喜徳郎君) 水源ト云フハ會社デ水溜ヲ拵ヘテ置ク場合ニ其水溜
ヲ指シテ言フ

○古市公威君 水溜ハ水溜デ、水源トハ言ヘナイ

○都筑馨六君 例ヘバ琵琶湖カラデモ引イテ居ル時ニハ、琵琶湖ハ水源ト云フコトニ
ナリハシマセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ツレハ會社ニ屬スルモノデハナイノデスカ

○都筑馨六君 鐵道用水路水源ト云フモノハ會社ニ屬スルモノト解釋スレバ宜イノデ
スカ

○政府委員(山之内一次君) サウデスカ

○都筑馨六君 サウ解釋スレバ無論異論ハナイガ先刻古市君ハ斯ウ云フ風ニ書イテ
置イテハ意味ガ廣クナル真ガアルカラト解釋シタカラデスカ

○古市公威君 兎ニ角、解釋ト云フモノハ幽霊ミタヤウナモノデ……

○都筑馨六君 イヤ、併シツレハ速記ニ留メテアルカラ宜イ

○委員長(子爵曾我祐準君) ドウカ御一人ザツ願ヒマス、速記ガ迷惑シマスカラ……

○高木豐三君 是ハ政府委員ニ御相談デスカ、第三條ノ四號デスカ此四號中ニ「通
信又ハ信號」ヲ「通信、信號又ハ送電」ニ改ムトアリマスガ、此送電ト云フノハ車ヲ動カス
方ガ重モナンデスカ

○政府委員(山之内一次君) 是ハ配電所カラ電氣ヲ送ル爲ニ電柱トカ何トカ云フモ
ノガアル、サウ云フモノヲ言ッタノデ……

○高木豐三君 通信ノ方ノ送電モ這入ルノデスカ、動力ノ爲ニナルノカ、通信ノ爲ノ
場合ヲ言フノカ

○政府委員(山之内一次君) 重モニ動力ノ爲デスカ

○高木豐三君 サウスルト此字ノ置キ所ヲ變ヘテハドウデスカ、送電ト云フハ單ニ動力
ノ爲ノミデアルト言ヘバ、ツレデ宜イノデスカ

○政府委員(山之内一次君) ソレヨリ外ニナイ、送電ト云フハ是ヨリ外ニ無イ
○委員長(子爵曾我祐準君) 四條ニ移テ宜シウゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐準君) 四條
〔書記朗讀〕

第四條 鐵道財團ハ所有權及抵當權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス

鐵道財團ニ屬スルモノハ所有權以外ノ物權又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スルモノハ不動產ニシテ賃借權ノ目的タルトキハ會社ハ鐵道財團ヲ設クルコトヲ得ス但シ不動產ニ關スル權利ニ付其ノ登記ナキトキハ此ノ限ニ在ラス

○村田保君 此四條ノ三項デスガ、私ハ是ハ但書ヲ加ヘタコトト云フモノハドウ云フモノデアラウカト思ヒマス、一體斯ウ云フ權利ガ既ニ登記ハシナイデモ一方デハ權利ガ成立シテ居ルモノダ、ソレバソレナラ構ハヌ登記サヘシナケレバ縱令ソレハ幾ラ財團ヲ設ケルモ構ハヌト云フハ甚ダ穩カデナイト思ヒマス、ソレノミナラズ三項ハ一體ドウ云フモノデゴザイマセウカ、是ハ必要ガアリマセウカト思ヒマスガ、ドウモ是ハ分リ切ッタコトデ、斯ウ云フ物權ノアルモノニ會社ガ鐵道財團ヲ設ケルコトガ出來ルト云フコトハ限ッデナイコトダラウト思ヒマス、サウシテ見ルト是等ハ言ハヌデモ明ニ分ッデ居ルカラ、餘リ丁寧過ギヤシナイカト思ヒマス、却ッテ之ガ爲ニ疑ヲ起サユニナルカラ三項ダケハ削ッテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス、イケマセヌデスカテ

○政府委員(一本喜徳郎君) 村田サンノ御意見ハ是ハ當然ナコトデアラウト云フ御意見デアリマスガ、當然デアルトハ言ヘナイダラウト思ヒマス、第二條ニ依リマスルト鐵道財團所有者ニ屬スルモノハ鐵道財團ノ中ニ加ヘルコトガ出來ル、併ナガラ其所有シテ居ルモノノ中ニ斯ノ如キ權利、差押、假差押、假處分ト云フモノニ付テ居ル場合ガアル、サウ云フ場合ガアリマシタ所ガ、第三條ニ依リマスルト、鐵道財團ノ上ニ加ヘル、當然トハ言ハレヌト考ヘマス、但書ヲ加ヘマシタ趣意ハ此修正案トシテ加ヘラレマシタ趣意ハ、多分想像スル所ニ據リマス、此前段々御意見ガ有リマシタ通り、登記ガ無ケレバ第三條ニ對抗ガ出來ナイノデアル、權利ハ持ッテ居デモ第三條ニ對抗シ得ベキ狀態ニ置カナカッタノハ其權利者ノ手落デアル、ソレハ致シ方ガナイ、ソレデアルカラ登記ノ無イモノナラ入レテ宜シイ、併ナガラ此規定ノ結果トシテ直チニ權利ガ消エテ仕舞フト云フコトハアルマイト思フ、權利ハ矢張り存シテ居ル、但シ鐵道財團ニ對シテ之ヲ對抗スルコトハ出來ヌ、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス、別段不條理ナコトハ無カラウト思ヒマス

○都筑馨六君 私モナラウトコトナラ理由ハマルデ村田サントハ違ヒマスケレドモ此蒞蒞版ノ修正案四條ノ三項ニ付テハ出來得ベクンバ政府ノ御一考ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、是ハ此通りノ儘デ御置キニナリマスルト蒞蒞版ノ十條ノ趣意トマルデ抵觸スルヤウナ嫌ヒガアリハシナイカ、此十條ニ據リマスルト抵當權ノ設定ノ認可ヲ申請シタ後ニハ競落

ハ許サヌ、他ノ物上權ノ行使ハ許スカト云フト、他ノ物上權ダケハ許スカノ如クニ見エタル、ソコハ唯、カノ如ク見エタルケデ明ニ出テ來ナイ、併ナガラ競落ニ限ッテ之ヲ許スノデスカラ、理由ハ四條ノ三項ノ理由ト抵觸スルカノヤウナ嫌ヒヲ起スノミナラズ、四條三項ヲ此儘ニ御置キニナリマスルト官報公告ノ效力ニ付テ大ニ疑ヲ惹起シテ來ヤウ、官報デ間違ッダ公告ヲシタトカ或ハ其公告ノ中ニ脱ケタモノガアッタトカ云フ場合ハ官報公告ノ效力ガ消エルノカ、或ハ設定シタ抵當權ガ無効ニナルノカ、万一其設定シタ抵當權ガ無効ニナルト云フコトデモ起リマスルト、モウ借金ハシタ、サウシテ其抵當ガ無効ニデモナルト所謂債權者ニ對シテ大變ナ信用上ノ情況ト云フモノヲ狂ハスコトニナリマスカラ大騷動ヲ惹起シマセウト思ヒマス、寧ロ十條ノ方ニ書カレタ主義、申請ガアッタ後カ或ハ此申請ノアッタ後デハイケヌト云フコトデアッタナラバ財團ニナッタ後ハ斯ウ云フモノガ有ッタニシタ所ガソレハ會社ニ向ッテナリ或ハ間違ッデ官報ニ公告ヲシタ人ナリドチカラニ間違ノ原因ニ對シテ損害賠償ヲ要求スルコトニシテ財團ノ效力ニ少シモ影響スル様ナコトノ無イヤウニシタイ、從ッテ一部分不道理ナモノガアッデモ行政官ノ認定デ財團ノ確定ノモノガ設ケラル、ヤウニシタイト云フ主義デアリマス

○政府委員(一本喜徳郎君) 唯今ノ御意見ノ前段ニ付キマシテハ先刻申述ベテ置キマシタ、詰リ修正ノ十條ノ御主意ハ若シ第四條第三項ノ様ナ權利ガ申請前カラアル場合ニハ申請ハ無論却下セラル、從ッテ競落ガ直グニ出來ルコトニナルソレガ爲ニ競落ヲ妨ゲルト云フコトハナラヌト云フ意味デ書カレテ居リマス、十條ハ畢竟九條ト主意ガ關聯シテ居ルノデアラ、申請シタモノハ一旦申請シマシタナラバ其中ノ一部ノモノヲ引拔イテ他ヘ讓渡スト云フ様ナコトニシマス極リガ附カナイ、財團ノ範圍ガ始終動イテ差支ヲ生ズルト云フコトカラシテ出來タ規定デアラウト思ヒマス、ソレデ前段ノ方ノ御意見ハ別段差支ナイコトト思ヒマスガ、後段ノ方ノ御意見ハ御尤モノ様ニ考ヘマス、併シ此修正案ノ第三項ノ書キ方ハ變ッテ居リマスケレドモ、同ジ主意ノ規定ガ原案ノ四條ノ三項ニゴザイマスカラ、ソレニ付テ政府ノ希望ヲ一言申述ベテ置キマス 後段ノ主意ハ御尤モデゴザイマスカラ其目的ヲ達スルニハ別ニ何カ規定ヲ設ケタラ宜カラウト思ヒマス、ソレデ四條ノ三項ハ此儘存シテ置カレマシテ、但シ鐵道財團ガ一旦出來上ッダ以上、第三條ノ中ノモノデアレバ、假令間違ッダ公告ヲシテモ總テ財團ノ中ニ屬スルト云フコトニシマシテ、即チ修正案ノ第十八條ト同ジ様ナ主意ト致シマシテ、其場合ニハ權利者ハ會社ニ對シテ或ハ損害賠償ノ權利ヲ有ツトカ、或ハ補償ヲ請求スルコトガ出來ルトカ云フコトニ致シマシテ、其結局ノ決定ハ或ハ裁判所ノ裁判ニ任セマスカ、行政廳ノ裁定ニ任セマスカ、何レカノ方法ヲ考ヘテ見タイト思ヒマス、其邊御同意ヲ願ヒタイト思ヒマスガ如何デゴザイマス

○高木豐三君 都筑君ニチヨット相談イタシマスガ、今問題ニテ居ル第四條ノ三項デスナ、此但書前ニ大分議論ガ出テ彼ノすてーしよんノ茶店ナドノ例モ出テ居ッタ様デアリマス、ア、云フヤツハ賃借權ヲ有ッテ建物デモ持ッテ居ル、斯ウ云フコトデアッタトキニ登記ハ無イケレドモ賃借權ガ有ルカラ抵當權ノ設定ガ出來ナイト云フコトハ隨分不都合ニナルダラウト思フ、但書ハソナナ場合ノ必要ニ設ケタモノデアリマセヌカ

○都筑馨六君 四條三項ノ但書ノミナラズ……全部ニ於テサウ云フ場合ガアル、例ヘバ茶店ナラバ茶店ガ賃借權ヲ有ッテ居ル爲ニ全部財團ガ出來ナイト云フコトハ誠ニ困

ルノミナラズ、官報デ公告シタトキニ間違ッテ公告ノ中ニ抜ツテ居ッタトカ、或ハ公告ニ對シテ異議ヲ唱ヘル者ガアッテ其異議ヲ見損ツタ場合ニ、官報ノ公告ノ無効ニナルノハ差支ナイガ、抵當權マデ無効ニナル處ガアリハシナイカ、ソレデ又抵當ヲ設定スルニ僅カ一人カ二人ガ苦情ヲ言ツタ所ガ、ソナモノハ會社ガ賠償ヲヤメツテ泣寝入ラス工夫ヲ會社ニ附ケテヤリタイ、斯ウ云フ主意アルノデスカラ、政府ガ御同意ガ出來ナイト云フコトナラバ致シ方ハアリマセヌガ、成ラウコトナラ一歩進ンデ、サウ云フ場合ニ一ツヤ二ツノ小サイトキニハ行政官ノ見計ヒテ財團ヲ設ケサセテ、會社カラ賠償ヲヤル様ナ仕組ニサセタ方ガ、抵當法ヲ行フ上ニ於テ實際便宜デアラウト思ヒマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 都筑サンニチヨット申シマスガ、先刻一木サンノ説明デハ他ノ所ヘ持ッテ行ッテ十八條ノ様ナ工合ニソレヲ確カメテ置カウト云フノハ、餘程都筑サンノ説ガ容レラレタ様ニ考ヘマスガ、ソレハ無論御不同意ハアリマセヌデセウ

○都筑馨六君 無論サウデゴザイマス、唯官報ノ公告ノ效力ト云フ様ナコトニ付テハ政府ノ方デ御同意ラシシ、但シ其方デナイ、今一方ノ一人ヤ二人ノ故障ノ爲ニ財團ガ設ケラレナイト云フ様ナ場合ニハ、矢張り設ケラル、ヤウニシテヤリタイ方ハ政府ハ御同意ガ無いノデスカ、モウ一歩御奮發下スツテ、ソレマデ御同意下スツテハ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 成ルベク原案ノ通り据置カレタイト云フ希望ヲ政府ハ有ッテ居リマス、唯今ノ御意見ノ一部ハ誠ニ御尤モノコト、考ヘマスカラ、其方ハ入レマスコトニ異議ハゴザイマセヌ、案ニ付キマシテハ尙ホ調ベマシテ……

○藤田四郎君 此一小部分ノ差押トカ云フ關係カラ全體ノ目的ニ影響シテ、ソレヲ何時マデモ認可ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フコトハ隨分困難ナコトガアリハシマセヌカ、ソレハ今ノ損害賠償ト云フ方ノコトデ行クト云フコトニ、ソレハ主務官廳ノ考ニ依ッテ行キ得ラレル様ナ餘地ノアル方ガ實際デアゴザイマスマイカ、是デアルト實際行ケナクナリマスカラ、ソコハ稍私モ都筑君ノ意見ニ同意ノ所ガアルデアリマスガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 實際ノ働キトシマシテ、サウ困難ナコトハ無カラウト思ヒマス、實際ハ一小部分ノコトデアリマスカラ、ドウデモ處分ガ出來ラウト思ヒマス、ソレニ色々ノ物件ガ附イテ居レバ其物件ヲ收容スル方法モアリ、最後ノ所ヘ行ッテヤレバ實際ノ働キハ附クト思ヒマス、餘リ之ヲ削ッテ仕舞ヒマスト他ノ權利ヲ蹂躪シテ仕舞フト云フ様ニナリ甚ダ法ノ體裁モ宜クナイト思ヒマス

○都筑馨六君 體裁ニ付テ言ヒマスルト、此原則ヲ御置キニナツテ、此間違ッテ公告ラシタ場合ノ但書ヲ御置キニナルト却ッテ議論ヲ惹起スコトガアリハシナイカ、寧ロ默ッテ削ッテ置ケバ體裁トシテ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 議論ガ起ラウト思ヒマスガ、併シ其方ガドウシテモ條理ニ適ッテ居ル様ニ一般ニ感シラレルデアラウト思ヒマス、ドウカ原案ヲ御賛成ヲ願ヒマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 第五條ニ進ミマス

第五條 抵當權ノ設定又ハ變更ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一方法ノ決議ヲ經主務官廳ノ認可ヲ受クルニ因リ其ノ效力ヲ生ス

○政府委員(吉村源太郎君) 此「因リ」ヲ「因リテ」ト願ヒタイ、例ヘバ一條ノ末項ノ

如キハ皆「因リテ」トナツテ居リマス

○都筑馨六君 是ハドウ云フ都合ガアッテ崑崙版ノ方ニ變ツタデアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ認可ヲ受ケルト云フコトデ效力ヲ生ズ、抵當權設定變更ノ效力ヲ生ズル時期ヲ明ニスルト云フ主意デアラウト思ヒマス

○都筑馨六君 分リマシタ

(書記朗讀)

第六條 鐵道財團ヲ抵當ト爲ス債務ノ額ハ社債ノ額ト合セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

○委員長(子爵曾我祐準君) 是ハチヨット御尋ネシタウゴザイマスガ、一ツノ會社ガ百萬圓ノ借財ヲシテ居ッテ、サウシテ其會社ハ五百萬圓ノ拂込アルカラ五百萬圓タケノ借金ヲ得ル、財團ヲ造ッテ財團引當ニ借ル、サウスルト今「舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス」ト云フト六百萬圓借リラレルト云フ譯デアリマスガ、サウデアアリマスマイネ

○藤田四郎君 ソレハ詰リ三百萬圓ノ會社ガ三萬圓借リテ居ッタ所ガ然ルニ利息ガ高イ、借換ヘテ三百萬圓借リルコトハ許ス、三百萬圓全額借リテ居ル奴ハモウ三百萬圓借リラレル……

○委員長(子爵曾我祐準君) 拂込ニ超過スルコトガ出來ルノデスカ

○藤田四郎君 ソレハ行キマス

○都筑馨六君 是ハ無制限ニ此但書デア宜シイノデゴザイマスガ、例ヘバ新ニ抵當附ニ借リタ金ヲ此債務ヲ拂フト云フタケノ確カナ途ガ何カ其規定ガ無クテ十分附クデアリマスカ如何デアリマスカ

○藤田四郎君 私ガ修正案ヲ出シマシタ主意ハ即チ政府ニ於テ是ハ何レ細則ヲ拵ヘラレテ、即チ舊債ト云フモノハ何時デモ返スコトガ出來ルトカ、鑓引デ返スコトガ出來ルトカ云フ突留メヲ得マシタ上デ認可セラレルデアラウト思ヒマス

○村田保君 此但書ガ加ハリマスト舊債ト云フコトノ見ヤウガ餘程ムツカシクハナイカト思ヒマス、舊債ト云フコトハ會社ガ成立ツタ後モ隨分舊債ガ有ラウ、會社ノ出來ル前ニモ舊債ガ有ラウト思ヒマスガ、舊債ト云フノハ例ヘバ假ニ一千萬圓ノ會社デ一千萬圓アル、ソレカラ又「之ヲ算入セス」ト云フト又更ニ一千萬圓出來ルヤウニ見エルデアリマス

○藤田四郎君 左様デス、極端ヲ申セバサウ云フコトモ出來ル

○村田保君 舊債ト云フト會社ノ出來ヌ前ノ舊債ト云フコトデアアルカ、財團ヲ造ル前ノ舊債ト云フコトデアアルカ、ソレハ……

○藤田四郎君 前ノ借金ト云フ譯ニナリマス、兩方這入ル見込デス

○委員長(子爵曾我祐準君) 藤田サンニ御尋ネシマスガ、藤田サンノ見込デアルト、拂込額ニ超過スルノハ、ホンノ借金振替ノ一時ノコトデアリマスガ、是デ一時ト云フコトガハッキリ分リマスカ

○藤田四郎君 「舊債償還ノ爲ニスル」ト云フコトガ載ッテ居リマスカラ、其方法ハ主務官廳デ事情ヲ見マシテアルデアゴザイマセウ

○高木豐三君 成程今村田サンノ御注意デ私モ考ヘマシタガ、舊債デハ擔保ヲ缺クヤウニ思ヒマス、矢張り前ノ抵當權ノアル債務ト云フコトニハツキリ分ルヤウニセスト……

○政府委員(一木喜徳郎君) 藤田サンニ伺ヒマスガ、斯ウ云フ御主意デハナカラウカ、「舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス」此舊債ト云フノハ詰リ第六條ノ本文ニ依ッテ舊債ノ中ニ這入ルベキ債務ヲ言フデアリマスガ、其以外ノ抵當附ノ普通ノ借金ノ如キハ初ヨリ其中ニ這入ラヌノデアアルカラ其但書ハ適用ハナイ

○藤田四郎君 社債ト同ジト云フ譯デアリマス

○都筑馨六君 サウ云フ御主意デアラウト思ヒマスガ、舊債務ヲ返ス爲ダト云ッテ借金ヲシテ置イテ少シ面倒ノ時ニハ舊債ヲ返スノゴト言ッテ此箇條ノ制限ヲ潜ッテ借リルト云フ弊ヲ防グ途ガ此但書一本アッタラ澤山デアリマセウカ、政府ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ初ニ借リマス時分ニソレヲ無論確メテ認可ヲ與ヘルノデアリマスガ、併シ認可ヲ與ヘテ金ヲ借リタ後ニ於テハ政府ニ於テ是非トモ返セト云フコトハムツカシイノデアリマスガ、併シツレハ一般ノ鐵道會社ニ對シマス監督權ニ依ッテヤッテ行クヨリ外ニ途ハ無イト思フ、或ハ必要ガアレバ重役ノ改選ヲ命ズルコトモアラウシ、其他極端ノ場合ヲ言ヘバ免許ノ取消ヲ行ク、サウ云フ監督ノ方法ヨリ外ハ無イ

○藤田四郎君 唯今政府委員ノ御答辯ノアリマシタコトハ出來得ルノミナラズ借金スルコトハ株主ノ決議ヲ經ナケレバナラス、重役ガ惡ルイコトヲスルノハ別デアリマスガ、株主ノ決議ヲ經ルモノデアリマスガ、先ツ普通ニ無イコトト私共ハ見テ居リマス

○男爵前島密君 チョット政府委員ニ伺ヒマスガ、是ハ極ク私ノ希望スル箇條デアリマスガ、抵當物ヲ出シテ居リマセヌ社債デモ宜シイノデアリマセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 宜シイコトニナラウト思ヒマス、御修正ノ解釋ハ……

○委員長(子爵曾我祐準君) 六條ガ宜シケレバ七條ニ移リマス

(書記朗讀)

第七條 抵當權設定ノ認可ヲ申請スルニハ抵當證書及鐵道財團目錄ヲ差出スヘシ但シ擔保附社債ヲ發行スル場合ニ在リテハ信託證書ヲ以テ抵當證書ニ代フ

抵當證書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 鐵道財團ニ屬スル線路ノ表示

二 抵當權者、債務者及鐵道財團ノ所有者ノ名稱及住所

三 抵當權ノ順位

四 債權額及償還ノ方法並期限

五 利率及利息支拂ノ方法並期限

抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生スヘキ契約ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

○藤田四郎君 政府委員ニ御尋ネシマスガ、第七條ノ第三項「抵當證書又ハ信託證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生スヘキ契約ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ依リ其ノ效力ヲ生ス」トシマスガ、ドウデス

○政府委員(一木喜徳郎君) 其方ハ必要ハアリマス、是ハ強テ效力ヲ生ズル時期

ヲ規定スル必要ハ無カラウト思ヒマス

○藤田四郎君 尙ホモウ一ツ伺ヒマスガ、此抵當權設定ノ申請ヲ致シマスルトキニ舊債務ナドノ有様ヲ皆書イテ出スコトハ必要ガ無イデセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ主務官廳ニハチャント分ッテ居リマスカラ宜カラウト思ヒマス

○都筑馨六君 ソレハ社債券ヤ何カ募ッテ居ル借金ダケデヤナイデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデス

○都筑馨六君 社債券デナイ一人カ二人ノ銀行カラ借りタ金ノ高ナドハ分ッテ居リマセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 其方モ届出ガアルサウデアリマスガ、其方ハ必要ハ無イ、制限ニハ關係ハ無イ

○委員長(子爵曾我祐準君) 七條ハモウ宜シウゴザイマセウネ……八條

(書記朗讀)

第八條 抵當權ノ設定認可ノ申請アリタルトキハ主務官廳ハ直ニ官報ヲ以テ鐵道財團ニ屬スヘキモノニ關シ第四條第三項ノ權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ一定ノ期間内ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

前項ノ期間内ニ申出ナキトキハ不動產ニ關スル權利ノ登記ハ其ノ效力ヲ失ヒ動產ニ關スル權利ハ存セサルモノト看做シ差押、假差押若ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ但シ抵當權ノ設定認可セラレサルトキ又ハ其ノ認可カ效力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

抵當權ノ設定認可セラレサルトキ又ハ其ノ認可カ效力ヲ失ヒタルトキハ主務官廳ハ直ニ官報ヲ以テ其ノ旨ヲ公告スヘシ

○都筑馨六君 實際ノ扱ヒ方ハドウナリマセウカ、八條ノ二項デスナ「申出ナキトキハ」トアリマス、申出ガアッタキ共申出ヲ取ルニ足ラヌト云フトキニ矢張り同ジコトデアラウト思ヒマスガ、其間免ニ角設定認可セラレ、マデハ假差押ヤ何カハズンノ「ヤッテ行ッテ」トハナイノデアリマスガ、ソレトモ十條ノヤウナ主義ニナッテ停止シテ居ルノデアリマスガ、ドウデスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 假差押假處分ノ方ハ結局現状ヲ維持シテ居ルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ唯今ノ御心配ハアルマイト考ヘマスガ、唯差押ノ場合ニ付キマシテハ停止スベキカ進行ヲ續クベキカト云フコトニ付テハ御尤ナ御尋ト思ヒマス、其點ニ付キマシテハ十條ノ手續ヲ定メテ置キマシタ、詰リ手續ハ進行シテ參ル、併ナガラ競落ヲ許ス決定ヲスルコトハ出來ナイ、是ハ不動產ニ關スル權利ダケニ付テアリマス、之ヲ準用シテ動產ノ場合ニハ執達吏ガ競落ヲ許スト云フコトハ出來ナイト云フコトニ相成リマス、結局動產ノ場合ニハ競賣ノ手續ハシナイテ手續ヲ停止シテ置クト云フコトニ相成ルデアラウト信ジマス

○都筑馨六君 不動產ノ場合ニ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 不動產ノ場合ニハ手續ハ進行シテ參リマスガ、裁判所ガ競落ヲ許ス決定ト云フモノヲ與ヘルト云フコトハ出來ナイ、手續ハ其時マデ進ミマシテ

ツコデ止マツテ居ル、斯ウ云フコトニ相成ルデアラウト信ジマス

○都筑馨六君 ドウモ此期限ノ間ニ一個人ガ不同意サヘ言フコトガ出來ル、前項ノ期間内ニ申出デルトコトサヘ出來ルナラバ況ヤ裁判ノ結果デ故障ヲ申スコトハ爲シ得サウナモノデアリマス、隨テ權利ノ進行上、競落ヲ許スベキモノナラバ此所デ許シタ方ガ却ッテ後ノ災ヲ防グ所以ノヤウニチヨイト感ズルデスガ、ソレハドウ云フ理由デアリマセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 此修正案ノ主意ニ依リマスルト、九條ノ規定ノアリマスル所カラ見マスレバ財團ニ屬スベキモノハ所有權ヲ他人ニ移サナイ、申請當時ノ有様デ會社ノ所有ニ屬セシメテ置クト云フコトガ原則ニ相成ルデアリマス、ソレデ競落ノ許可ヲ致シマスルト所有權ガ他人ニ移リマス、財團外ノ取引デ所有權ヲ移スコトハ出來ナイト云フ主意ヲバ矢張り裁判所ノ手續ノ上ニマデ應用スルト云フコトハ相當ノコトデアリマス、同一ノ原則ヲ適用シタモノデアルト云フコトニ相成ラウト信ジテ居リマス

○村田保君 此一定ノ期間ト云フノハ十四日トカ云フノデセウカ、其一定ノ期間ト云フモノハ何ゾ他ニ細則カ何カデ御定メナリマスカ、其時ニ主務官廳デ期限ヲ凡ソ見積ッテ期間ヲ定メルト云フデアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ主務官廳ガ極メ積リデアリマス、事柄ニ依リマシテ期限ノ長短ヲ斟酌シナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマス、大キナ鐵道トカ非常ナ錯雜シタルモノハ極ク簡單ナモノト多少異ニシナケレバナラヌ點ガ有リマセウ、要スルニ主務官廳ガ相當ノ期間ヲ定メルト云フ考デアリマス

○都筑馨六君 「申出ナキトキハ」トアリマス、無理ナ申出ヲシタトカ或ハ疑ハシイ申出ヲシタトカ云フ場合ニハドウナリマスカ

○政府委員(齋藤十一郎君) ソレハ申出ノ有リマスと云フノハ結局適法ノ申出ヲ指スノデアリマシテ不適法ノ申出ノ場合ニハ申出ノ無イモノト主務官廳ハ認メルデアラウト思ヒマス

○都筑馨六君 ツコデゴザイマス、申出ノ適法不適法ト云フコトヲ判決スルノハ監督官廳ガ行政權デアリノデアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 適法不適法ト申シマスノハ第四條第三項ノ權利ヲ有スルモノデモナク差押、假差押若クハ假處分ノ債權者デモナク、マルテ關係ナイヤウナ者ガ申出デルト、即チ申出ヅベキ者デナイ者ガ申出デルト云フ時ニハ主務官廳ガ認定シテ差支ナイ、併ナガラ其權利ガ有ルカ無イカ、又ハ差押、假差押若クハ假處分ノ債權者デアアルカ無イカト云フコトハ主務官廳決スル譯ニハイクマイト思ヒマス

○都筑馨六君 疑ハシイ場合ニハドウナリマス、ドウ云フ手續ニナリマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 詰リソレハ申請者ガ裁判上ノ手續ナリ何ナリヲ經テ其關係ヲスツカリ明ニシマシテ無ケレバ申請ヲ認可シナイト云フコトニナラウト思ヒマス

○都筑馨六君 其裁判上ノ手續ヲ明ニスルト云フコトガ何レ公告中……此期間ハ二週間カ二週間、高ミデ一月グラ井ト思ヒマスガ、總テノ場合ニ裁判上ノ手續ハハキリ極メルト云フコトガ出來ルヤ否ヤ、詰リ其精神ヲ推シテ行ッたら競落スルモノナラバ競落サシテ仕舞ッタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 申出ヲサスルニハ證明ヲサセナケレバナリマセヌ、即チ權

利ヲ登記シテアルモノデナケレバ不動産ニ就テハ申出ハ出來ヌ、ソレデ例ヘバ登記簿ノ謄本ヲ添ヘテ申出ルト云フヤウナコトデ大抵ノ場合ハ分ラウト思ヒマス

○高木豐三君 今問題トナッテ居リマスノハ無論差押、假差押假處分ノ如キハ無論裁判上ノ處分ヲ經テ場合デアアルカラ申出ノコトモハキリ分ラウトアラウカラ、ソレハ宜シウゴザイマスガ、此一定ノ期間内「ト云フコトデゴザイマス、是ハ村田委員カラモ質問ガ出マシタガ、政府ノ意見デハ主務官廳デ定メテ官報ヘ公告スレバ宜シイ、斯ウ云フコトノヤウデ普通ノ場合ハソレデ宜イカ知リマセヌガ、茲ハエライ大キナ失權ノ制裁ヲ受ケル所デアアル、斯ウ云フ場合ニハ矢張り凡ソ一定ノ法律上ノ期間ト云フモノガ無イト非常ニ不都合ナコトガ出來ルデアラウ、例ヘバ假差押假處分ヲ裁判所ニ申請シテ居ル若クハ官報ノ公告ヲ見テ鐵道財團ガ抵當ニ這入ッテ仕舞フカラ之ヲ押ヘヌナラヌト云フテ差押ノ申請ヲシテ其進行ガ長ビク時ニハ随分時日ヲ要スル、所ガ單ニ一定ノ期間ト云フコトデ漠然デハナイ極デハ居ルガ今日中ニヤラナケレバイカヌトカ、明日ヤラナケレバイカヌトカ云フコトガ出來ル餘ホド重大ノ關係ヲ持ッテラウト思フ、成ラバ此期間ハ矢張り法律デ極メテ置イタ方ガ宜クハナイカト思フガ、如何デセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 強ヒテ期限ヲ極メル必要モ無イト思ヒマスガ、極メマシテモ差支ゴザイマセヌ

○村田保君 官報ヲ以テ公告スルト云フノデスガ、官報ト云フモノハ官吏ハ購讀ノ義務ガアルガ、一般ノ者ハ關係ノ無イモノデスカラ、或ハ官報又ハ新聞トカ云フヤウナコトニナッテ新聞ニモ掲ゲルコトニナルト大變ニ宜イト思フガ、ドウ云フモノデセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 官報ハ詰リ公示スル方法トシテ極ツタモノデ、他ノ例モサウ云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス、例ヘバ華族ノ世襲財産ヲ設ケマスル場合デモ別ニ新聞ニハ廣告シマセヌ、公示ノ方法トシテハ官報ノ外、新聞ニハ極ツタモノハアリマセヌ

○高木豐三君 此期間ハ差支ガ無イナラバ私ハ法律デ極メテ置キタイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 御修正ノ御意見ガ出マスナラバ伺ッタ上デ……

○高木豐三君 斯ウ云フ失權ノ結果ヲ來ス方ノ場合ノ期間ト云フモノハ、ドノ位ノモノデセウカ、少ナクモ一箇月グラ井ハ必要デラウト思ヒマスガ、是ハ尙ホ御取調ベナスッデ下サイ

○政府委員(一木喜徳郎君) 但書ニデモシマスカ

○藤田四郎君 三十日ヲ下ルコトヲ得ズト云フヤウニ低イ方ノ制限ヲ極メタラ宜カラウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 一箇月グラ井ナラ宜イデセウ

○高木豐三君 ソレデハ「但シ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フ修正案ヲ提出シマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 其御修正ハ政府モ異議ハゴザイマセヌ

○男爵小澤武雄君 「但シ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フノハ一箇月ノ外ニ出ルコトハ出來ナイト云フ意味デスカ

○高木豐三君 詰リ非常ニ長イヤツトカ、煩雜ナモノトカ云フノハ主務官廳ガ非常ニ長イ期限ヲ定メラレル、二箇月モ定メラレルガ、一定ノ期間ト云フノハ一箇月ヨリ短イ期間ヲ定メテハナラヌゾ、斯ウ云フコトニナルノデス

○委員長(子爵曾我祐準君) 高木君ノ修正ヲ念ノ爲ニ申シマスガ「但シ其ノ期間ハ一箇月ヲ下ルコトヲ得ス」是ニハ政府モ異議ハ無イサウデアリマス

(贊成「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵曾我祐準君) 然ラバ左様ニ改マリマシタ

○都筑馨六君 二項デスナ、一木サン、申出ガアルト此四條ノ三項ニ依ッテイケナイト云フコトニナルノデスカ、假差押ナリ差押ノ申出ガアルト四條ノ二項ニ戻ッテハイケナイト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデス

○藤田四郎君 唯今村田君ヨリ但書ヲ削リタイト云フ説ガ出マシタガ差支アリマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ガ無イト餘ホド差支ヘマス、是ハ當然ノ話ト申サレヌノデ、詰リ前項ノ期間内ニ申出ガアッテ即チ抵當權ノ設定ガ認可セラレヌカ認可ガ效ヲ失フトキニハ登記ヤ何カガ消エテ仕舞ヒマス、期間内ニ申出ガ無イト瞬間ニモ消エテ仕舞フト云フコトニナル、是ハ唯申出ガ無イト云フコトヲ以テ直グニ權利ガ存在セザルモノト看做シ、登記ガ效ヲ失フト云フ結果ニナル

○都筑馨六君 今ノ村田サンノ御説ニ付テ認可ヲセヌトキモ公告カ何カ出來ルノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 其事ハ修正案ノ方ニアルノデス

○藤田四郎君 ソレハ二讀會ノトキニ能ク研究シマセウ

○委員長(子爵曾我祐準君) サウスレバ前キニ進ミマシテ九條

(書記朗讀)

第九條 抵當權ノ設定認可ノ申請ヲ爲シタル後ハ會社ハ鐵道財團ニ屬スヘキモノヲ讓渡スコトヲ得ス

○高木豐三君 是ハ申請ヲ一旦爲シタルバソレハ屹度動カサヌト云フ趣意デアルヤウニ見エルヤウデアリマスガ、實際ドンナモノデアリマセウカ、公告ヲ爲スマデハ申請書ヲ訂正シテ急ニ賣リタイモノガ出來タラバ賣ルコトガ出來ルヤウニシテ置クガ宜クハナイデセウカ、コナ必要ガアリマセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 申請ガアリマス直チニ公告スル積リデスガ、其間ニハ餘裕ガ無イト考ヘマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 第十條

(書記朗讀)

第十條 第八條第一項ノ公告アリタル後ハ抵當權ノ設定認可ノ申請カ却下セラレサル間及其ノ認可カ效力ヲ失ハサル間ハ鐵道財團ニ屬スヘキ不動産ニ關スル權利ニ付競落ヲ許ス決定ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ動産ニ對スル競賣ノ場合ニ之ヲ準用ス

○都筑馨六君 少シ諄イサウデスケレドモ新八條ノ二項ノ申立サヘアレバ財團ガ出來ナイト云フコトニナッテ居ル、財團ガ出來ナイト云フコトニナルナラバ尙更此競落マデ裁判所ニヤラシテ宜カリサウニ思フデスガ……

○政府委員(一木喜徳郎君) 財團ガ出來ナケレバ申請ガ却下セラル、ソレデカラ競落ガ出來ルト云フコトニナル

○都筑馨六君 競落サセテモ宜ササウナモノデハゴザイマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) ソレハ同ジコトデ、出來ナイモノナラバ申請ハ却下シナケレバナラヌ、從テ競落ノ決定モ出來ル

○都筑馨六君 此申請ガアルマデハ競落ヲ裁判所デ止メテ置ク、所ガ鐵道會社ノ方ハ申請シタ、サウシテ一個人ノ權利者ハコッカラ異議ヲ申立デタ、即チ一箇月ノ期間内ニ異議ヲ申立デタ、ソレガ正シイ意味ナラ申請ハ却下シテモ主務官廳ガ財團ノ許可ヲ與ヘルコトガ出來ナイノデアルカラ、況ヤ裁判ノ結果カラ尙更サウ云フコトガ出來ナイノデ、裁判ノ結果マデ差止メル必要カ何處ニアルカ、申請前カラ差押ヘテ來テサウシテ申請後……

○政府委員(一木喜徳郎君) 其説明ハ今ノ説デ宜イデセウ

○高木豐三君 差押、假差押、假處分ト云フモノヲ私ガヤッテ居リマスト云フコトヲ言フテ出ルニハ必ズ裁判所ノ差押命令、假處分命令ト云フモノヲ主務官廳ニ持ッテ出ルデラウト思フ、ソレヲ持ッテ出ルト既ニ其時ニ當然其效力ヲ失フテ許スコトガ出來ナイト云フコトハ極ッテ居ル、サウスルト此競落ヲシテハナラヌト云フコトヲ書クヤウニナリマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 新八條ノ二項ノ規定デゴザイマスガ、是ハ當然效力ヲ失フト云フノガ本文ニナッテ居リマスガ、但書ガ付キマシテ一ツノ全キモノニ相成ルノデ、抵當權ノ設定ガ認可セラレタトキ、ソレカラ其認可ガ效力ヲ失フトキ、サウ云フ條件ヲ付ケテアルモノト見テ差支ナイト云フノデ、ソコデ直チニ效力ヲ失フカラ、サウシテモ差支ナイノデハナイカト云フコトハ相成ルマイ、矢張り後ニ相成ッテ效力ヲ失フカ否ヤガ極マルデラウト思フ、尤モ但書デ一旦效力ヲ失ッタモノガ又復活スルト云フノデゴザイマセヌカ、斯ウ云フコトニシテモ效力ヲ失フモノデアル、斯ウ云フ解釋ヲスベキコト、思ヒマス、ソレカラ先刻ノ都筑サンノ御疑デアリマスガ、唯今申ス通りノ關係デアリマシタ、詰リ效力ヲ失フトカ失ハヌトカ云フコトガ主務官廳ノ認可ト云フモノト相待チマスナラ、認可ガ採用スベキカ其申請ガ却下セラル、カト云フコトガ極リマセヌデハ、ドチヲトモ付カナイ、ソレデアルカラ裁判所モマア競落ヲ待ッテ居ラナケレバナラヌト云フ結果ニナラウト思フ、ソレデ此十六條ノ規定ガ必要トナッテ參リマシタ

○高木豐三君 認可ニナレバ當然競落ヲシテ良イト云フ意味デセウナ、認可ニナレバ尙ホ競落ハ出來ナイノデセウカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 左様相成リマス

○政府委員(一木喜徳郎君) 殊ニ先刻御話シタヤウナ箇條ガ加ハレバ尙ホサウナラウト思フ、主務官廳ハ間違ガ無イカドウカ知ラヌガ認可シテ仕舞フカモ知レヌ、サウ云フコトモアリマスカラシテ先刻申シタ規定ヲ加ヘルトスレバ尙更其必要ガ有ラウト思ヒマス

○村田保君 先ヘ行カウデハアリマセヌカ

○委員長(子爵曾我祐準君) 第十一條

(書記朗讀)

第十一條 第八條第一項ノ期間經過後鐵道財團ニ屬スヘキモノニ付爲シタル登

記又ハ差押、假差押若ハ假處分ハ主務官廳ニ於テ抵當權ノ設定ヲ登録シタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

○委員長(子爵曾我祐準君) 是ハ宜シウゴザイマスカ……次ニ移リマス、第十二條

(書記朗讀)

第十二條 抵當權設定ノ認可アリタル後二箇月内ニ其ノ登録ノ申請ナキトキハ認

可ハ其ノ效力ヲ失フ

第十三條 抵當權ハ債權成立以前ニ於テモ其ノ效力ヲ生ス

第十四條 抵當權ノ得喪更ハ鐵道財團ノ所有權ノ移轉ハ登録ヲ爲スニ

非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

○政府委員(一木喜徳郎君) 先刻ノ御修正ノ結果モアリマスカラ、此十二條ノ二箇

月ト云フハ少シ今日デ見ルト長過ぎル様ニ思ヒマス、モウ少シ短クシテモ差支ヘナイカト

思ヒマス、是ハ認可ノ效力ヲ發生スルト同時ニ抵當權設定ハソレニ依テ成立ツノデス

ナ、效力ヲ生ズルコトニナル、ソレカラ登録マデノ間ニ二箇月置ク必要ハ無カラウ、ソレカ

ラ尙ホ登記ノ謄本ヲ附ケルト云フコトモ無シマスカラ差支アルマイカト思ヒマス

○都筑馨六君 如何デゴザイマス、此認可ニ付テ或ハ公告ノ手續ガ違法デアッタカ

何ダト云フコトデ、登記ヲ取消サレル様ナ場合ガアリハシマセマカ、サウ云フ様ナ場合ガ

萬一アルナレバ二箇月グラ井ノ長サヲ置イテ置ク方ガ宜クハアリマセマカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 併シ認可ヲ取消シマス抵當權ハドウナリマス、登録

ハ第三者ニ對スル效力ヲ生ズル爲ニ必要ナルモノデアッテ、登録前モ抵當權ハ成立ッテ

居ルノデゴザイマス、其點カラ言フト別ニ長クシテ置ク必要ハ無イ様ニ思フノデス

○高木豐三君 詰リ此認可ニ對シテ行政訴訟ヲ起セルトカ何ト云フコトガナケレバ

殆ドあぶそりウヒモノト思ヒマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 新第十二條ノ二箇月修正ヲナサリマス、ドウデゴザリ

マス

○高木豐三君 私ハ一箇月ト修正シタイ

○委員長(子爵曾我祐準君) 先ニ移リマス、第十五條、

(書記朗讀)

第十五條 數箇ノ債權ヲ擔保スル爲同一ノ鐵道財團ニ付抵當權ヲ設定シタルトキ

ハ其ノ抵當權ノ順位ハ登録ノ前後ニ依ル

第十六條 抵當權者ハ鐵道財團ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受

クルコトヲ得

第十七條 抵當權者ハ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クル迄ハ鐵道財團ノ全部ニ付其ノ

權利ヲ行フコトヲ得

○委員長(子爵曾我祐準君) 第十八條

(書記朗讀)

第十八條 會社カ鐵道財團ヲ設ケタル鐵道ニ關シ新ニ第三條ニ掲ケタルモノヲ取

得シタルトキハ當然鐵道財團ニ屬ス

前項ニ掲ケタルモノニ關シ第四條第三項ノ權利アルトキハ不動産ニ關スルモノノ登

記ハ其ノ效力ヲ失ヒ動産ニ關スルモノハ存セサルモノト看做シ差押、假差押又ハ假

處分ハ其ノ效力ヲ失フ

○政府委員(一木喜徳郎君) 先刻都筑君ノ御意見ニ基キマシテ新ニ規定ヲ加ヘル

コトヲ考ヘテ見ヤウト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ、其規定ハ或ハ十八條ノ規定ト多少

關聯シテ參ルカモ知レヌ、其コトヲ豫メ御含ミヨ……

○委員長(子爵曾我祐準君) サウスルト今一木君ノ御主意ハ十八條ヲモウ少シ修

正シテ是ニ加ヘル……

○政府委員(一木喜徳郎君) 或ハ又外ノ條ニ致シマスカ……

○子爵三島彌太郎君 此今御修正ガゴザイマスレバ其前同テ置キタイノデゴザイマス、

此案デゴザイマスガ、斯ウ云フ意味ニナルノデゴザイマス、例ヘバ一ツノ鐵道財團ガ茲ニ

出來テ居ル、其鐵道財團ヲ持テ居ル會社ガ新ニ此第四條第三項ノ權利……イヤ御

待チ下サイ、「第三條ニ掲ケタルモノヲ取得シタルトキ」ト云フデアリマスカラ、當然財團

ニ這入ッテ仕舞フ、而シテ終ヒニゴザイマス所ノ方ニ依ルト不動産ノ場合ニハ登記シタモ

ノハ其效力ヲ失ヒ動産ノ方ハ初メカラ其效力ガ存セサルモノト見ル、即チ車輛ナラ車輛

ガ質ニ這入ッテ居ッテ、其質ニ這入ッテ居タノヲ會社ガ承知シテ居ッテ、惡イ重役ナド

ガソレヲ買ッテ仕舞フ、既ニ買ッテ仕舞タ時ニハ會社ノモノデアアルカラ當然財團ニナルベ

キモノト云フコトニナッテ、ソレニ對シテ權利ヲ行フコトガ出來ヌト云フコトニナルデアリマ

スカ、チヨット御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山之内一次君) 御尋ノ通りニナル積リデゴザイマス

○子爵三島彌太郎君 サウシマスト重役等ガ惡イ者デアッタ時ニハ抵當ニ這入ッテ居

リ或ハ質ニ這入ッテ居ルモノヲ大變ニ安く買ッテ仕舞タト云フヤウナ場合ニハ債權者ガ

非常ニ迷惑ニナル譯デゴザイマスナ

○政府委員(山之内一次君) ソレハ占有ガ移ッテ仕舞ヒマスカラ差支ナカラウト考ヘ

マス

○政府委員(一木喜徳郎君) 先刻三島子爵ノ御居デノナイ時ニ一應申述ベマシタ、

又ソレニハ都筑委員ノ御意見モゴザイマスシ、權利ノ付イタモノガ財團ニ屬スル場合ニハ

會社ヲシテ相當ノ保證ヲナサシメルト云フヤウナ途ヲ設ケル必要ガアラウト思ヒマス、ソ

ソレハ損害賠償デ當然行ケルモノデアアルカ、或ハ特ニ損害賠償ノ方法ヲ設ケルカ、若クハ

保證トシテ收用ノ例ニ倣フコトニスルカ、其邊ハ能ク攷究シテ見タイト考ヘマス、ソレデ御

疑ハ解ケルデアラウト思ヒマス

○子爵三島彌太郎君 宜シウゴザイマス

○都筑馨六君 此十八條ノ體裁ノコトデゴザイマスガ、出來ルコトナラバ原則ヲ設ケテ

置イテ餘リ素々裸ノ規定ヲ出サレヌヤウナ書方ガアレバ御考ヘヲ願ヒタイ思ヒマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 第十九條、元ノ第二十一條

(書記朗讀)

第十九條 抵當權ハ鐵道財團又ハ之ニ屬スルモノノ讓渡、貸付、滅失又ハ毀損ニ

因リテ會社カ受クヘキ金錢其ノ他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ抵當權者

ハ其ノ拂渡又ハ引渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要ス

貴族院鐵道抵當法案特別委員會議事速記第五號

明治三十八年二月十日

四九

○政府委員(一木喜徳郎君) サウデゴザイマス、大抵宜カラウト思フノデゴザイマス
○委員長(子爵曾我祐準君) 第二十條

第二十條 會社力鐵道財團ヲ讓渡シ、貸付シ若ハ抵當ト爲シ、鐵道財團ニ關スル

營業ノ管理委託ヲ爲シ、其ノ線路ヲ變更シ又ハ其ノ線路ノ全部若ハ一部ニ付營業ヲ休止セムトスルトキ又ハ鐵道財團ニ屬スルモノヲ處分セムトスルトキハ抵當權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

抵當權者カ前項ノ期間内ニ異議ヲ述ヘタルトキハ會社ハ主務官廳ノ裁定ヲ求ムヘシ此ノ裁定ハ終局トス

抵當權者カ外國ニ住所有スル場合ニ於テハ第一項ノ期間ハ四箇月ヲ下ルコトヲ得ス

本條ノ規定ハ抵當權者力豫メ同意ヲ與ヘタル場合ニハ之ヲ適用セス

○都筑馨六君　此鐵道財團ニナッテ居ルモノハ無論抵當權ヲ脊負ッテ居ルノデカラ、此財團ヲ譲受ケ若クハ抵當ト爲シト云フノハ第二ノ抵當權デアラウト思ヒマス、第二ノ抵當權ハ第一ノ抵當權ニ少シモ權利ノ障害ヲセヌノデカラ、抵當權者二問フ必要ハ無カラウト思ヒマスガ、何ノ理由デ之ヲ問フノデアリマスカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 成ルホド多クノ場合ハ御説ノ通りデアリヌガ、想像ヲ致シテ見レバ第一抵當權者ヲ害スル爲ニ第二ノ抵當權ヲ設ケルヤウナ場合ガ無イトハ言ハレマセヌ、一例ヲ舉ゲテ申シマスルト、第二ノ抵當權者ガ競賣ヲ申立テ、來マス、第二ノ抵當權ヲ設定シテ短期ノ債務ヲ起シマスト云フヤウナコトヲ致シマシテ、鐵道ヲ競賣シテサウシテ陰ニ回ツテ安く買フト云フヤウナコトガ出來ルカモ、知レマセヌ、勿論是ハ想像デゴザイマシテ、事實サウ云フコトハ無イカモ、知レマセヌガ、併シ全クサウ云フコトガ無イトモ言ハレヌカト思ヒマス、ソレ故ニ矢張り之ニ付キマシテモ、意見ヲ言ハレタ方が宜カラウト思フノデゴザイマス

○委員長(子爵曾我祐準君) 鐵道財團ニ關スル營業ト云フコトハ…………

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ營業ノ管理委託デゴザイマシテ、財團ハ物質的ノ設備ヲ言フノデアリマスカラ、ドウモ外ニ書方ガナイヤウデゴザイマス、詰リ鐵道財團ニ關スル鐵道營業デゴザイマス

○都筑警六君 第一 抵當權者ニ對シテ異議アラバ一定ノ期間云々ト云フコトハドウ
ニ云フモノデセウカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ競賣申立ノ時期ニ依ッテ先キニナレバ高ク賣レヤ
ウト思フ時デモ第二抵當權者が申立テタ爲ニ競賣シナケレバナラヌ、サウスレバ 餘ホド利
害ノ關係ガアラウト考ヘマスカラ催告スルコトニ……

○都筑馨六君 高木サン、是ハドウデセウネ
○高木豊三君 想像ヲスレバサウ云フ場合ガ無いコトモアリマスマイ

○高木豐三君　ツレハ二番抵當ノ期限ガ短イ爲デスカ
○政府委員(一木喜徳郎君)　二番抵當ノ期限ノ爲

藤田四郎君 隨分會社カグルニナシサウ云フコトヲヤラヌトモ言ハレナイ

○都筑馨六君
ツレカラ一
期間ハ四箇月ヲ下ルエト得ヌ」トアリマスガ社債券ノ時ハ

日本ノ所持テ居ルノモノヲ以テ、外國ノ所持テ居ルノモノアリマセウ。サレドモ、場合ニ依リテ、四箇月ノ期間ヲ用井ルコトニナルト多クノ場合ハ皆四箇月ニナリハセヌデアリマセウカ、斯ノ如ク二ツノ期限ヲ設ケル必要ガアルノデアリマスカ

○政府委員（木喜徳郎君） 是ハ社債券發行ノ場合ニハ、抵當權者ハ受託會社ニナルト思ヒマス

○都筑馨六君 サウスルト信託法ニ據テヤル場合ニ日本ニ其會社ガ有レバ日本ノ債權者ハ何處ニ居テモ日本ノ何デヤルノデスカ

○政府委員（一木喜徳郎君） サウデス

○委員長(子爵曾我祐準君) 二十二條
〔書記朗讀〕

第二十一條 會社カ鐵道財團ニ關スル工事方法ノ變更ニ付認可ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ變更カ鐵道財團ノ價額ヲ著シク減スヘキ虞アリト認ムルトキハ主務官廳ハ會社ヲシテ抵當權者ニ對シ異議アラハ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告セシムヘシ
前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

○委員長（子爵曾我祐準君） 先へ行キマス

第二十二條 免許ノ失効又ハ取消ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ其ノ權利ヲ實行ス

ルコトヲ得
前項ニ依リ抵當權ヲ實行セムトスルトキハ抵當權者ハ免許ノ失効又ハ取消ノ日ヨリ六箇月内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

免許ハ前項ノ期間及抵當權實行ノ終了ニ至ル迄仍存續スルモノト看做ス

○委員長（子爵曾我祐準君）先ヲ讀ミマス
〔書記朗讀〕

第二十三條 債權者カ同一ノ債權ノ擔保トシテ數箇ノ鐵道財團ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ其ノ代價ヲ配當スヘキトキハ其ノ各鐵道財團ノ價額ニ準シテ其ノ債權ノ負擔ヲ分ツ

或鐵道財團ノ代價ノミヲ配當スヘキトキハ、抵當權者ハ其ノ代價ニ付債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ鐵道財團ニ付辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツル迄ニ二代

位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得
○委員長(子爵曾我祐準君) 先ヲ讀ミマス

〔書記朗讀〕

第二十四條 前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ヲ行フ者ハ其ノ抵當權ノ登錄ニ其ノ代位ヲ附記スルコトヲ得

○村田保君「附記スルコトヲ得」デナク「附記スヘシ」トシタ方が宜ササウナモノデスナ

○政府委員(齋藤十一郎君) 是ハ過日ノ會ノ時ニモ申述ベテ置キマシタガ、登錄ヲシマスルコトト、シマセヌコトハ權利者ノ隨意デゴザイマシテ、登錄ヲシマセヌ場合ニハ其優先權者ニ對抗ガ出來ナイト云フ結果ニ相成リマス

○都筑馨六君 是ハサウ云フ意味ナンデセウ、代位ヲ附記スルニ非サレバ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス……

○政府委員(齋藤十一郎君) 全クサウデス

○都筑馨六君 ソレナラバサウ云フ書方ニナスデハドウデスカ、代位ガアツテ之ヲ附記シヤウトシマイト同ジコトデアアル、ドチラデモ隨意デアアル、サウシテ代位ヲ行フニハ附記シナイデモ之ヲ行フコトガ出來ルト云フ風ニ取ツテ無理ニ解釋ヲスレバ取レスコトハナイ、デアアルカラ今仰ツシヤル意味ナラバ是ハ代位ヲ附記スルニ非サレバ之ヲ何トカニ對抗スルコトヲ得ズトカ云フ書方ニスル方が御主意ニ適ヒハシマセヌカ

○政府委員(齋藤十一郎君) 其點ニ付キマシテハ元ノ十七條、新十四條ニ此規定ガアリマスルカラ自ラ明カデアラウト云フ考デス

○村田保君 登錄ニ已ガ代位ヲシタト云フコトハ書カナイデ置イテモ宜イデスカ……代位ハ代位シテ居ルケレドモ……

○政府委員(齋藤十一郎君) 代位ニ因テ抵當權ヲ行ヒマス者ヨリモ優先權ヲ持ツテ居ル者ガ出テ參リマセヌトキニハ登錄ヲシナクテモ宜シイト思ヒマスガ、一旦優先權者ガ出テ參リマスルト其者ニハ對抗ガ出來ナイト云フコトニ相成リマス

○村田保君 サウシテ見ルト矢張り代位ハ書カセルコトニシタ方が宜イ

○都筑馨六君 サウスルト是デハ唯「附記スルコトヲ得」ダケデアツテ、ドウモ附記シナイデモ代位ニ因テヤルトキニハ此箇條ヲ行ケルヤウニ、チヨット解釋シ易イガ、附記スルニ非ザレバ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズト云ハ却テ御主意モ能ク立チ意味モハッキリスルデヤゴザイマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 其御修正ニナリマシテモ宜シウゴザイマス、唯民法ノ書方ニ據ツタノデゴザイマスガ、サウ直リマシテモ別ニ仔細ハゴザイマセヌ

○都筑馨六君 何か一ツ書方ヲ御考ヘ下サルト云フコトニシタラドウデゴザイマセウ

○政府委員(一木喜徳郎君) 承知シマシタ

○委員長(子爵曾我祐準君) 先ヲ讀ミマス

〔書記朗讀〕

第二十五條 抵當權者ハ鐵道財團ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノ他ノ財産ヲ以テ辨濟ヲ受ケルコトヲ得

前項ノ規定ハ鐵道財團ノ代價ニ先チテ他ノ財産ノ代價ヲ配當スヘキ場合ニハ之ヲ適用セス但シ他ノ債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムルカ爲之ニ配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得

○委員長(子爵曾我祐準君) 先ヲ讀ミマス

〔書記朗讀〕

第二十六條 政府カ鐵道及附屬物件ヲ買上ケタル場合ニ於テ抵當權設定後十箇年又ハ据置年限ヲ經過シタルトキハ抵當附債務ヲ辨濟スルコトヲ得但シ少クトモ一箇年前ニ豫告スヘシ

○古市公威君 我ハ藤田委員ガチヨット今缺席シテ居マスガ、私ニ託シテ行ツタノデス、此十箇年ヲ二十箇年ニ改メタイト云フノデス

○都筑馨六君 政府ハ二十箇年ニナリマシテモ御不同意ハゴザイマセヌカ

○政府委員(一木喜徳郎君) 是ハ餘ホド考ヲ要スルコトデ即席ニ御答ガ仕兼ネル、併シ御修正ガ出マスレバソレニ付テモ考ヘテ見マス

○委員長(子爵曾我祐準君) 是ハソウナラ本當ノ第二讀會デ修正サレタラドウデスカ

○都筑馨六君 修正案ガ出タニ付テ政府ガ考ヘルト云フコトニシテ置イテ、十箇年ト極メズニ置イタラ如何デス

○委員長(子爵曾我祐準君) 第二讀會ナラ如何ナル修正デモ出來マスカラ……併シ御贊成ハアルノデスカ

○政府委員(一木喜徳郎君)

○村田保君 贊成デアリマス

○男爵川口武定君 贊成

○委員長(子爵曾我祐準君) 二章マデアリマスガ、モウ今日ハ是デ置キマスカ

〔ドウカ今日ハ是デケニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐準君) 然ラバ是デ今日ハ散會イタシマス

午後二時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵曾我 祐準君

委員 子爵大宮 以季君

子爵三島彌太郎君

村田 保君

藤田 四郎君

小幡篤次郎君

國務大臣

內閣總理大臣 伯爵桂

政府委員

法制局長官 一木喜徳郎君

大藏省參事官 塚田達二郎君

遞信省鐵道局長 山之内 次君

子爵堀田 正養君

男爵前島 密君

男爵川口 武定君

都筑 馨六君

高木 豐三君

子爵島居 忠文君

男爵小澤 武雄君

古市 公威君

大浦 兼武君

遞信大臣

法制局參事官 吉村源太郎君

司法省參事官 齋藤十一郎君

明治三十八年二月十二日印刷

明治三十八年二月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局